

# 令和3年度 決算のお知らせ

収入総額	64億5,797万4千円	(経常収入55億6,471万5千円)
支出総額	54億9,513万6千円	(経常支出54億1,901万5千円)
決算残金	9億6,283万8千円	(経常収支差引額1億4,570万0千円)

## 健康保険

当健保組合の令和3年度決算は、収入総額64億5,797万円、支出総額54億9,514万円となり、収支差引では9億6,284万円の残金が生じました。実質的な収支状況を示す経常収支差引でも1億4,570万円の黒字となりました。

健保組合の主な収入源である保険料は、算出の基礎となる標準報酬月額および総標準賞与額の伸びにより、55億4,151万円（前年度比2億2,243万円増）となりました。

主な支出を見ますと、皆さまの医療費にあてられる保険給付費は、新型コロナウイルスによる影響で一時的に減少がみられた前年度の反動から大幅に増加し、27億8,523万円（同3億3,079万円増）となりました。高齢者医療制度への財政支援として国に拠出する納付金は、2年前の精算による返還金が生じたことなどから、21億8,564万円（同1億1,464万円減）となりました。

令和3年度は保険料収入の増加や納付金の減少により黒字となりましたが、団塊の世代が75歳以上となる2025年問題をはじめとした健保財政に影響

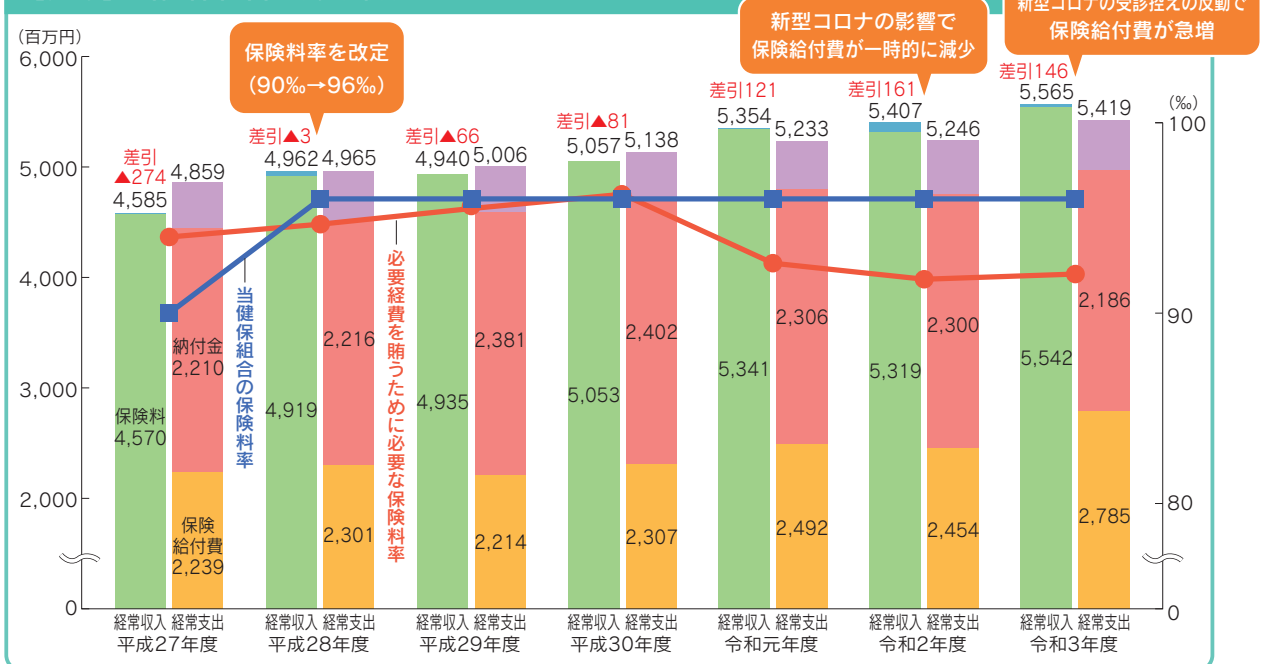
を与える構造的な問題が解決したわけではありません。将来にわたって安心して必要な医療を受けられる国民皆保険制度が持続できるよう、国による制度改革が望まれます。

当健保組合におきましては、中長期的な財政安定化に向け、これまで以上に疾病予防策や生活習慣病の重症化予防に向けた取り組みを推進してまいります。皆さまにおかれましては、健診や人間ドックなどの保健事業を積極的にご利用いただき健康管理にお役立ていただきますとともに、医薬品はジェネリックをご選択いただくなど、引き続き医療費の適正化にもご協力ください。

決算基礎数値 決算の基礎となった数値は次のとおりです。

被保険者数	10,967人
被扶養者数	6,297人
標準報酬月額	346,980円
総標準賞与額	134億7,327万円
保険料率(調整保険料率を含む)	96/1000

【参考】当健保組合の財政状況



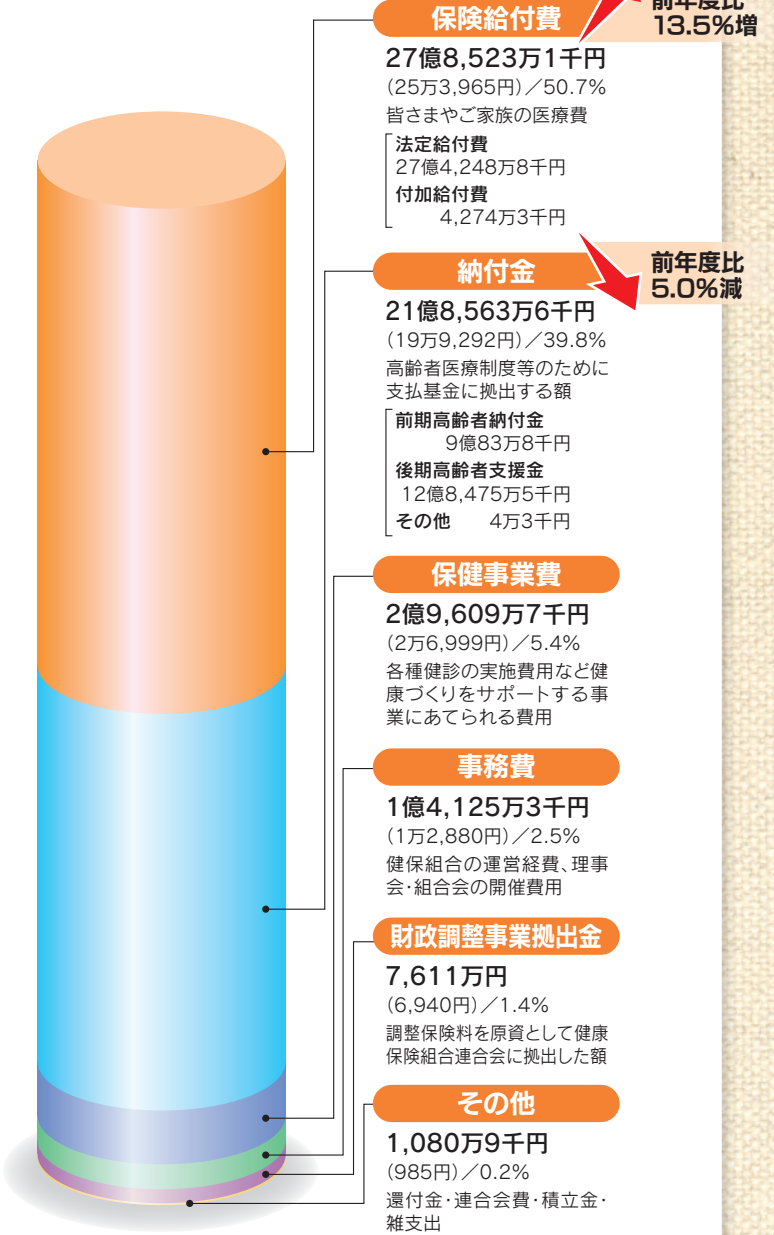
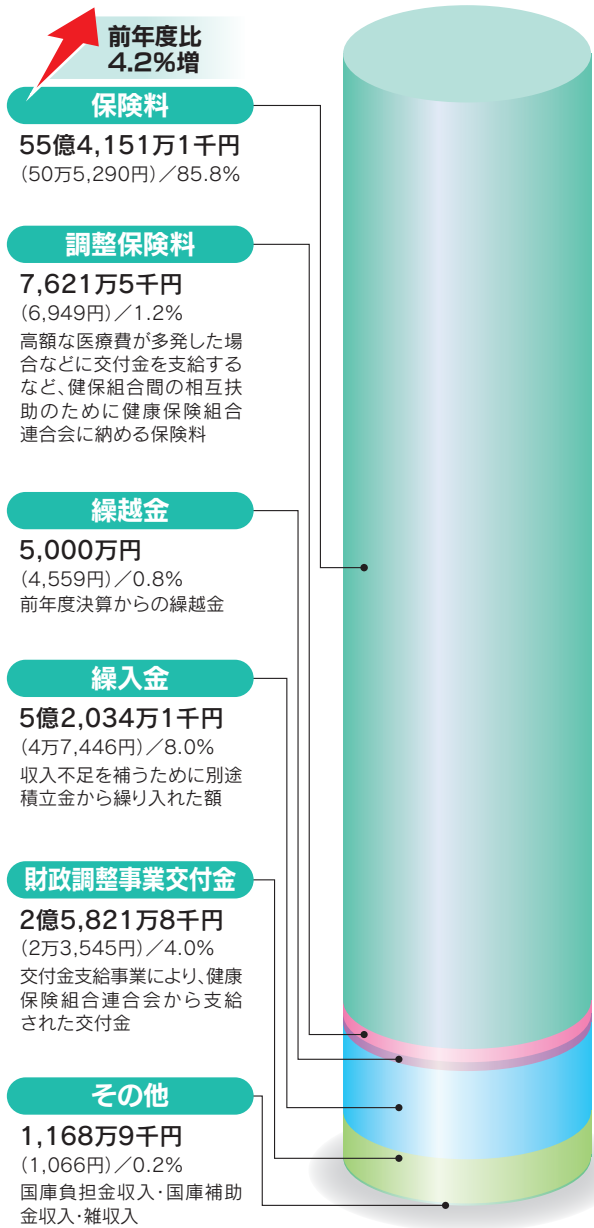
# 収入

収入総額  
64億5,797万4千円  
(58万8,855円)

# 支出

支出総額  
54億9,513万6千円  
(50万1,061円)

( )内は「被保険者1人当たり額」  
％は「総額に対する割合」



## 介護保険

健保組合では、40～64歳の被保険者（介護保険第2号被保険者）から介護保険料を国に代わって徴収し、国に納付しております。

令和3年度は、国に納める介護納付金6億5,821万円に対し、介護保険収入5億6,398万円となりました。収入不足が生じたため、準備金を取り崩して補てんしました。

### 収入

科目	決算額(千円)	介護保険第2号被保険者1人当たり額(円)
介護保険収入	563,975	99,572
繰入金	130,000	22,952
雑収入	4	1
合計	693,979	122,525

### 支出

科目	決算額(千円)	介護保険第2号被保険者1人当たり額(円)
介護納付金	658,209	116,209
介護保険料還付金	86	15
合計	658,295	116,224